

2023 TOYOTA GAZOO Racing Yaris Cup 参戦レポート② 東日本シリーズ第6戦 @スポーツランドSUGO



著：ささ子レーシング 土屋

大会概要

開催レース：SUGOチャンピオンカップ 第4戦

開催場所：スポーツランドSUGO（全長3586m）

参加クラス：TOYOTA GAZOO Racing YarisCup 東日本シリーズ第6戦（以下ヤリスカップ）

日時：2023年10月14日（金曜日：専有走行 土曜日：予選/決勝）

参加台数：63台（CVTクラス除く52台）

大会公式サイト：<https://toyotagazooracing.com/jp/yariscup/>

結果概要

エントリー名：ケイズMoty'sささ子Yaris

カーNo:335

ドライバー：土屋耕太

メンテナンス：ケイズファクトリー

前日専有走行：1分50秒378

予選：1分50秒484

決勝：30位⇒30位

ベストタイム：1分51秒039

(B組14位)

(A組15位, 総合30位)

(決勝進出45台中)

(決勝5LAP目)

Photo: dmk0712



序盤でポジションアップをするも他車と交錯してしまい、30位フィニッシュと沈んでしまいました。

10/13 特別スポーツ走行

約5か月のインターバルを経て、今シーズン2レース目のSUGOラウンドを迎えました。今大会は金曜日の走行2枠と、土曜日の予選決勝という短期フォーマットの為、通常よりも少ない時間で週末のコンディションに適応されることが求められる大会です。

まずは前週の練習会で履いたUSEDでコースインし、車両の状態を確認します。タイヤのウォームアップタイミングを探りながらアタックしていきます。1分49秒後半のタイムをマーク。PITに戻りエアと減衰を調整して再度コースインし、ウォームアップ～アタックの練習を繰り返します。



10/13 TRA専有走行

PMの専有走行では新品タイヤを投入し、予選アタックのシミュレーションを行います。タイヤの温まりを確認し、計測1周目にアタック、1分50秒378をマーク。事前の予想通り、USEDの約コンマ5秒落ちとなり、ピットインして車両の状態をチェック、再度コースインしアタックの感覚をつかみます。

その後は車両のフィーリングに対してアタックのペースが上がらず、やはり翌日の予選はワンアタック勝負となる事が予想されました。

翌日の車検にむけた準備を行い、初日を終了します。



10/14 予選(B組10時15分～15分間)

いよいよ決勝グリッドを決める予選セッションが始まります。
走行はB組のため、A組の走行をコースサイドで確認しつつ準備をします。
陽もだいぶ昇り、路面温度の状態は前日AMの走行枠と同じくらいに感じました。

セッションが始まると早々にコースインし、
タイヤのウォームアップを感じたタイミングでアタックに入ります。

この時、1周目の手ごたえが悪かったため、計測2周目にアタックに入ります。
スリップのタイミングが悪く単独のアタックとなってしまいますが、1分50秒484をマーク。

一度ピットに戻りエアチェックをし、再度アタックに懸けます。

今度は前後の車両の間隔が悪く、アタックに失敗。
そのまま1回目のアタックで記録した1分50秒484がベストタイムとなり、
この後の決勝はB組15番手、総合30番手スタートとなります。



10/14 決勝 (13時10分～10周)

グリッド上で車両の最終チェックを行うと、いよいよ決勝レースが始まります。

30番グリッドともなると、緩やかに坂道発進となる場所で、スタートシグナルが辛うじて見える位置となります。この位置からのスタートは、2012年の軽自動車の草レースデビュー以来の景色です。

いつものようにスタートダッシュを決めますが、上り坂スタートの分、前車を追い抜くところまではいきませんでした。しかし1周目に3台をパスし、徐々に順位を上げていきます。

その後も前方の車両のミスを伺っていたところ、3周を過ぎた馬の背の立ち上がり、失速した車両を交わしながらSPコーナーへ進入していきます。しかし相手も一步も引かず、並走するかたちでSPアウトコーナーに進入、そのまま自分の方にはらむ車両を避けるとSPアウトのポールが目の前に迫ります。

間一髪でアウト側に回避しますが、立ち上がりの車速が悪く、その後の最終コーナーで一気に抜かれてしまいます。27位までアップしたポジションを再び30位までドロップさせてしまいました。

その後も前走車を追いかけますが、徐々に車両もタイヤもヒートがきつくなりペースが上がりません。後続の車両をブロックする防戦一方の戦いとなってしまう、そのままフィニッシュ。30位にてレースを終えます。本来のパフォーマンスが発揮できず、非常に悔しいレースとなりました。



フォトギャラリー



Special Thanks (順不同、敬称略)

kei's factory

Moty's[®]
HYPER LUBRICANT TECHNOLOGY

SEIDOYA
SEIDOYA BRAKE PAD
Racing

RAYS
RACING WHEEL

StarFive
Motor Racing Store

M's factory
DESIGN print ★ cutting

HID屋

SPIN OFF
Next Standard with

乃梅本館
佐藤屋



笹谷部
R-286 Touring

J
JUDGE PAGE



トータルサポートコンサルティング株式会社

886
www.44g.jp



Selffresh
セルフフレッシュ



豚骨東京
ボウから



SINDESIGN



**次戦は11月11-12日 東日本シリーズ 第7戦
富士スピードウェイ大会に参戦予定！
引き続き応援の程、宜しくお願いします**

